

鑄造から加工、精度保証まで 手がけるダイカストメーカー

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



自動車部品から農機部品、事務用品まで多様な製品を生産

業務内容 事業承継を契機に 仕事の幅を広げる

木下アルミ(株) (大阪府八尾市) による旧「ヨシダダイカスト」の事業承継を契機に、木下アルミ(株)の社長で現在の「サンエスダイカスト」の社長を務める木下正夫社長の息子の木下忠紀専務が「ヨシダダイカスト」に入社。勤めていた食品品商社を辞め、同社の実質的な経営にタッチすることになった。「父は入社に反対していたが、どうにかしなければならぬと説得した」と木下専務は当時を振り返る。

設立当初は鑄造のみだったが、設備投資をしながら仕事の幅を広げた。現在は金型の生産から仕上げまで一貫して手がけている。また自動車関連企業との取引が創業時は中心だったが今では自動車のみならず、農機具や事務器具と多様な業種と取引している。

強み コストダウンを視野に入れ鑄造から 精度保証まで一貫して手がける

肉厚1mmから薄肉鑄造が可能で、寸法公差±1,000分の7mmという精度で加工ができるのが同社の強み。また鑄造から仕上げまでを一貫して手がけ、非接触3次元測定器により加工部品の精度保証を迅速に実施している。海外生産によるコストダウンにも着手しており、平成21年から取引を行ってきた中国・大連で金型を生産する大連博創精密に対し、平成28年2月には同社10%、同社グループ会社である木下アルミ(株) 25%の比率で出資して合弁会社化した。

海外展開 中国関連会社の 拡張を進める

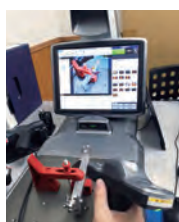
平成28年10月には中国・大連の関連会社大連博創精密が仕事量の増加で工場が手

狭になったことから近隣移転を決め、約2,000万円を投じ、移転先の工場を改修したほか建築向けの加工のため650tの鑄造機1台を新規導入した。

大型鑄造機の導入により、従来手がけていなかった縦400mm×横400mmの大きさまで鑄造できるようになった。中国関連会社の成長スピードは著しく、業容拡大を続けている。「会社設立からこれまでに、工場の移転・拡張を4回している」と木下専務は話す。

今後の展望 ミリ波レーダーの シャーシ生産に注力

平成20年のリーマンショックの影響と当時主力としていた自動車向けやカーナビ向け部品の生産が九州や海外へと移管したことなどで、売り上げが大幅に減少した。従来と異なった分野で仕事の受注を増やすなどの経営努力により黒字化し、新規分野への参入を果たした。また、現在では、自動車衝突予防システムのセンサ部品「ミリ波レーダー」のシャーシの生産に力を入れている。平成26年に計1,700万円を投じて、CNC(コンピュータ数値制御)加工機と3次元測定器を1台ずつ導入し生産能力を大幅に高めた。自動車分野で衝突予防システムの需要が大幅に伸びるとの予測を立てており、生産性が高い設備の導入を進めている。



精度保証
することで
新規分野開拓



ミリ波レーダーの
シャーシの
生産を強化

当社の歴史



平成12年4月に「カネシロ鉄工」のダイカスト部門より、「ヨシダダイカスト」として独立しました。平成14年2月にはダイカスト原材料と製品販売業に携わってきた木下アルミ(株)への事業承継を経て、平成15年8月に「サンエスダイカスト」に名称を変更しました。創業当時は大手や中堅メーカーから金型支給によるダイカスト鑄造のみでしたが、メーカーや商社から金型から最終工程まで請け負っています。

代表取締役専務 **木下 忠紀さん**

大阪28 ISO 9001

主な事業内容

アルミ・亜鉛ダイカスト製品全般

主な取引先(納入先)

農業機械メーカー、
自動車部品メーカー、
産業機械メーカー

- 住所 〒581-0053 八尾市 竹瀬東2-115
- TEL 06-6704-9991
- FAX 06-6704-9992
- 創業 平成12年4月
- 設立 平成12年4月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 32名

<http://www.3s-dc.co.jp/>